

門司港地域複合公共施設整備事業 概要説明資料

事業名	門司港地域複合公共施設整備事業
事業場所	北九州市門司区清滝二丁目ほか

【事業概要】		総事業費	約10,388百万円	具体的な方針
用途地域	商業・準工業	その他地区	<small>景観重点整備地区 関門景観形成地域</small>	①基本設計案と検証案の比較 ※資料2 P14、P17参照 財政面の比較については、検証案では基本設計と比べて3億円縮減しております。性能面の比較では、賑わい回遊性、安全性、防災、維持管理等の項目で比較した結果、総合的に検証案の方が優れているという評価になります。 経済面と性能面ともに検証案の方が有利であるということで、 <b>検証案で複合公共施設を整備していく方針</b> といたします。
敷地面積	約8,600㎡	建築面積	約4,350㎡	
延べ面積	約21,200㎡	最高高さ	約25m	
構造階数等	【複合公共施設棟】鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート5階建 【駐車場棟】鉄骨造4層5段			
◆これまでの事業の経緯				
平成26年 2月	北九州市行財政改革大綱を策定 公共施設マネジメントのモデルプロジェクト対象地域として門司港地域を選定			②建設用地について ※資料2 P15参照
平成27年 2月	公共施設マネジメントの考え方〔方向性〕を公表 門司港の中心市街地に点在する公共施設を駅周辺に集約し、全体床面積を縮減			当初は土地所有者と借地（3,000万円/年）を前提として協議を進めていたが、市の財政負担軽減のため、 <b>用地を買収する方針</b> で進めて参ります。
平成28年 2月	公共施設マネジメント実行計画の策定 施設整備可能な駅周辺の2カ所の候補地と集約対象施設、集約後の延べ面積			③事業手法について ※資料2 P18参照
平成30年10月	公共事業評価（事前評価1）を実施 市民意見等を総合的に判断し、現在の建設予定地を選定			PFI事業者の本事業への参入が見込めないことや、DB方式（デザインビルド方式、設計施行一括発注方式）による事業費削減、工期短縮が見込めないことなどから、 <b>従来方式（設計施行別発注）を採用</b> します。
平成31年 3月	基本計画を策定 複合公共施設の整備基本方針と整備内容等			④集約対象施設の跡活用について ※資料2 P6参照
令和元年10月	基本設計を実施			令和5年度から令和6年度にサウンディング調査等を実施し、令和7年度から令和8年度に方向性を決定する予定。複合公共施設が共用を開始する <b>令和9年度から跡活用を開始</b> します。
令和3年 6月	検証業務を実施 基本設計について、整備費縮減等の検証を実施			
令和4年 1月	公共事業評価（事前評価2）の手続き開始			